

【商業科】 2 年次 【選択】 科目「税務会計」授業のシラバス

1 概要

教科名	商業	科目名	税務会計	単位数 (コマ数)	3 (117)
科目の目標	企業の経理に必要な税法についての基礎的知識を学習させ、これに基づいて取引を正確に記帳するとともに税を正しく計算し、申告する能力を養う。				
教科書 (出版社)		副教材 (出版社)	基本税法 (英光社) 所得税法 3 級 直前模試【平成 31 年度検定対応】(英光社) 消費税法 3 級 直前模試【平成 31 年度検定対応】(英光社)		

2 学習の方法

- (1) 予習について
教科担当の先生の指示に従ってください。
- (2) 授業について
毎時間の授業を大切に集中して取り組んでください。疑問点は遠慮なく質問してください。
教科担当の先生の指示に従い、授業で使用するものを確認してください。もし忘れた場合は、授業が始まる前に教科担当の先生に申し出てください。この授業で使うファイルは「プラスチックの赤 (ピンク)」です。
- (3) 復習について
授業についていけなくなるようなことがあれば、教科担当の先生に積極的に質問するなど、自ら進んで復習に取り組んでください。

〈学習アドバイス〉

全員で所得税法能力検定 3 級・消費税法能力検定 3 級に挑戦します。1 年間の積み重ねが結果につながりますので、日々の授業を大切にに取り組んでください。
経理実務士 (補) 資格認定の核となる科目です。

3 評価について

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
① 関心・意欲・態度	税務会計に関心をもち、その基本的かつ実践的な知識と技術の習得を目指して意欲的に取り組むとともに、税の知識を活用して企業の実態を的確に捉えることができる態度を身に付けている。
② 思考・判断・表現	税務会計について、なぜ、そのような計算や処理を行うのかなど自ら思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身に付け、成果を適切に表現できる。
③ 技能	税務会計に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、ビジネスの諸活動を計数的に把握し、的確に処理することができる。
④ 知識・理解	税務会計に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、各種税法の基本的な考え方・処理法などを理解している。

(2) 評価の方法 (以下観点①～④は「(1) 評価の観点」と対応する)

評価材料		定期考査・確認テスト		小テスト	提出物	課題
観 点	割合					
① 関心・意欲・態度	10%	△	その分野が日常生活にどのように活かされているかを問うことがあります。			◎
② 思考・判断・表現	30%	◎	企業経理における税務処理の実際を、簿記・会計のルールによって考察し、的確に表現できるか。	○	○	○
③ 技能	30%	◎	全経所得税法検定・消費税法検定 3 級レベル	○	○	○
④ 知識・理解	30%	◎	全経所得税法検定・消費税法検定 3 級レベル	○	○	○

〈担当者からのメッセージ〉

- 卒業後、社会の即戦力になれるよう、税務会計に関するスキルを身に付けてください。

【商業科】 2年次 【選択】 科目「税務会計」授業のシラバス

4 授業計画

月	単元	時数	学習内容	観点別評価	到達目標	考查等
前期 4	第1編 税金のあらまし		税金の意義／税金の根拠／税金の目的／納税の義務／税金の分類／基本用語	①	税金の意義や納税の義務に関心をもっている。②税金の根拠や目的について思考を深めている。③税金の分類に関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。税務会計に関する基本用語を身に付けている。	
5	第2編 所得税法 第1章 所得税のあらまし	9	所得の意義と計算期間／納税義務者／納税地／所得の帰属／申告納税制度と源泉徴収／所得の種類／所得税計算のしくみ／非課税所得と免税所得／青色申告制度	④ ①	所得の意義や所得税法に関心をもち、意欲的に取り組むとともに、所得税の知識を活用できる態度を身に付けている。	
6	第2章 所得の内容と所得計算方法	12	利子所得／配当所得／不動産所得／事業所得／給与所得／退職所得／山林所得／譲渡所得／一時所得／雑所得	②	青色申告や納付、還付について、自ら思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、成果を適切に表現できる。	前期中間考查
7	第3章 課税標準		損益通算／純損失の繰越控除／雑損失の繰越控除	③	所得の計算・控除や納税額の計算に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、的確に処理することができる。	
8	第4章 所得控除	9	雑損控除／医療費控除／社会保険料控除／小規模企業共済等掛金控除／生命保険料控除／地震保険料控除／寄付金控除／障害者控除／寡婦（寡夫）控除／勤労学生控除／配偶者控除／配偶者特別控除／扶養控除／基礎控除／所得控除の順序	④	所得や控除の種類に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、所得税法の基本的な考え方・処理法などを理解している。	
9	第5章 申告納税額の計算	12	課税総所得控除に対する税額／税額控除			
10	第6章 確定申告、納付、還付等		確定申告／納付／還付／修正申告と更正の請求／更正と決定			
11	第7章 復興特別所得税	6				
後期 10	第4編 消費税法 第1章 消費税のあらまし		課税対象／税率／課税方法／消費税額の原則的な計算の手順	①	消費税法に関心を持ち、意欲的に取り組むとともに、消費税の知識を活用できる態度を身に付けている。	前期期末考查
11	第2章 通則	9	納税義務者／確定申告・納付／中間申告・納付／外国貨物の引取者の申告・納付／納税地／課税期間等／中小事業者の特例	②	消費税の会計処理や仕訳について、自ら思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、成果を適切に表現できる。	
12	第3章 消費税の対象		国内取引に係る課税対象取引／国内取引として課税される「資産の譲渡等」の範囲／外国貨物の範囲	③	消費税の控除や計算に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、的確に処理することができる。	
1	第4章 非課税取引と免税取引 第1節 非課税取引 第2節 免税取引	15	国内取引／非課税となる外国貨物	④	課税、非課税および免除、地方消費税に関する基礎的・基本的な知識を身に付けることができる。	所得税法・法人税法・消費税法能力検定
2	第5章 小規模事業者に係る納付義務の特例等		小規模事業者に係る納付義務の特例／基準期間がない法人の納税義務の免除の特例	④	消費税法の基本的な考え方・処理法などを理解できる。	
3	第6章 課税標準及び税率	15	国内取引に係る消費税の課税標準／輸入取引に係る消費税の課税標準／税率			
4	第7章 税額控除等	9	仕入れに係る消費税額の控除／課税売上割合が95%以上の場合の計算方法／課税売上割合が95%未満の場合の計算方法／仕入税額控除のための要件／仕入税額控除の調整	①	法人税法に関心を持ち、意欲的に取り組むとともに、法人税の知識を活用できる態度を身に付けている。	後期中間考查
5	第8章 簡易課税制度 第9章 地方消費税の概要	6	制度の概要／みなし仕入率	②	法人税の申告と納税について、自ら思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、成果を適切に表現できる。	
6	第10章 会計処理	6	納税義務者等／課税標準／地方消費税額 会計処理の方法／具体的な仕訳例	③	税務上の所得・控除や納税額の計算に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、的確に処理することができる。	
7	第3編 法人税法	9*	法人税のあらまし／法人税法上の「所得」／損益の期間帰属／棚卸資産／有価証券／減価償却／繰延資産の償却／役員報酬、賞与、退職給与／租税公課／寄付金／交際費等／貸倒損失／貸倒引当金／圧縮記帳／受取配当等の益金不算入／その他の損益／税額の計算／同族会社と留保金課税／税額控除	④	各種損益計算や圧縮記帳に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、法人税法の基本的な考え方・処理法などを理解することができる。	所得税法・法人税法・消費税法能力検定
		計 117	申告と納税			後期期末考查

※ 観点別評価①は関心・意欲・態度、②は思考・判断・表現、③は技能、④は知識・理解を表しています。

※ 授業計画は進度により前後することがあります。